

水稲におけるカメムシ対策・雑草対策

令和7年6月

大分県東部振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班

👉カメムシ被害内容

斑点米カメムシは出穂後に籾を吸汁し、**等級低下や不稔米を発生**させ**収量・品質に影響する**



ホソハリカメムシ



クモヘリ
カメムシ



イネカメムシ

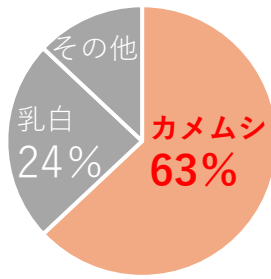
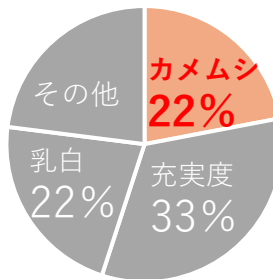
成虫の特徴

体長：約13mm
黄褐色で背部両面に白色帯を持ちやや細長い

【農産物検査での格落ち理由(R4~5)】

[県全体]

[カメムシ多発地域抜粋]



.....

特にイネカメムシは被害が甚大

- 斑点米カメムシ類の中でも大型のイネカメムシが増加しており、斑点米だけでなく**不稔被害を多く生じさせる**
- 他のカメムシよりも吸汁能力が高く、出穂直後から吸汁するため、**通常より早い防除が必要**

👉イネカメムシ被害写真



イネカメムシ被害粒



イネカメムシ斑点米



収穫期を過ぎても直立したままの不稔穂

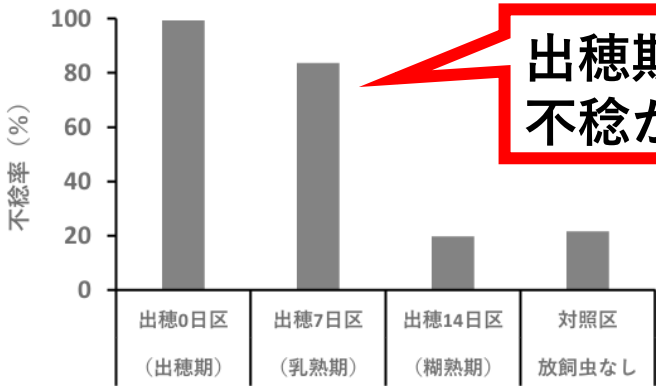


刈取後の水田

不稔となった圃場
※矢印は境界線

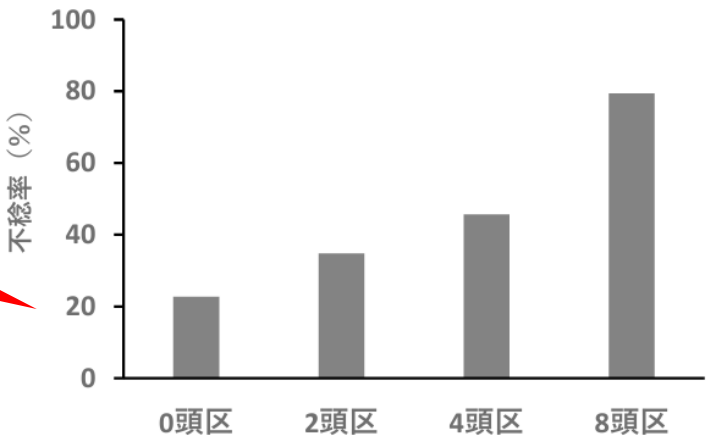
不稔被害の調査結果

イネカメムシ成虫を時期別に10日間放飼した際の不稔率



出穂期・乳熟期に加害されると、不稔が増加する！！

イネカメムシ成虫を頭数別に出穂直後から14日間放飼した際の不稔率



1頭/株で6%不稔発生
※ロジスティック回帰分析結果

対策

化学的防除

★農薬は穂揃期とその7～10日後の2回散布を基本とする

～農薬例～

農薬名	使用時期	10a当り
スタークル粉剤 DL	穂揃期に散布※	3kg
スタークル粒剤	出穂7日前後に湛水散布	

※イネカメムシが見られる場合は出穂直後に1回目を散布する

+

耕種的防除 ～圃場の草刈りについて～

★伸びた雑草が害虫の温床になるため、圃場の周りの草刈りをして、圃場をキレイに保つ

しかし

★出穂直前に草刈りをする、逆にカメムシが畦畔から圃場に入り、穂を吸汁する可能性があるため、水田周りの草刈りは出穂の2週間前までに行う